

千歳市市民協働推進会議議事録(公開)

会議名	市民協働推進会議(第10期 第2回)		
日時	令和7年5月21日(水) 18:30~20:00	場所	市役所2階庁議室
出席者	委員:8人 事務局:地方創生推進係長及び企画課主査		

議題	ひと・まちづくり助成事業選考審査 ・園芸療法を用いたストレスケア事業 ・青葉公園の自然を親しみ・楽しむ事業 ・楽器演奏と朗読による読書会
決定事項	いずれの事業も附帯意見ありで採択。

◎委員 ■事業申請者 □実施担当課 ○事務局 ●附帯意見

会議要旨	
<p>～選考会～</p> <p>【園芸療法を用いたストレスケア事業】・・・ひと・まちづくり助成事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーション実施団体(5分)・・・しろつめくさ ・本事業は、花と緑を通して市民の心身の健康や子ども達の情操を育むことを目指しており、市民対象で月1回(7-11月)千歳駅前花壇の植物を活用したイベントを開催。イベント開始時と終了時にはストレスチェックを測定してストレスケアに繋がる事業を行います。また年1回(9月7日)グリーンベルトのプレパークも開催し、自然らしさが体験できる事業も行います。 ・質疑(10分) <ul style="list-style-type: none"> ◎委員～グリーンベルトで行うプレパークの内容をもう少し詳しく聞きたい。 <ul style="list-style-type: none"> ■実施団体;ダンボールを使った火起こし体験や、テント・ハンモックの設置を行う。保護者と子供で参加してもらうが、基本的には子供を見守るスタンスで行っていく。 ◎委員～火起こしについて、火傷が心配だが、安全面に問題はないのか。 <ul style="list-style-type: none"> ■実施団体;直接の火起こしは大人が行うが、子供が火に直接触れないように、保護者及びスタッフで注意はする。しかし、基本的には見守りのスタンスなので、子供が火は危ないということに気付くことも大事にしたい。 ◎委員～園芸療法自体は広がっている取り組みなのか <ul style="list-style-type: none"> ■実施団体;海外でも広がりを見せていて、韓国やイギリス、アメリカなどで実践されている。園芸療法士として資格を持っている人もいる。 ・実施団体退出 ・採点・集計 ・集計結果発表(別紙①) <ul style="list-style-type: none"> ・採択 ●附帯意見 ストレスチェックを行うとのことだが、それが園芸療法によるものかの因果関係は証明しにくいのではと思われるため、それが必須かどうかを検討してほしい。ストレスチェック機械の購入費用を他に回すことで、活動をより充実できる可能性があると考え。プレパークに 	

関しては、ダンボールを使うのみだと園芸療法との関与が薄いと感ずるため、実際には周辺の花壇等に触れ合う要素が含まれるとより良いと考える。また火傷等については、実施後にクリーム等が発生する可能性もあるため、安全性には十分注意をしてもらいたい。

◆ 青葉公園の自然を親しみ・楽しむ事業・・・ひと・まちづくり助成事業

- ・プレゼンテーション実施団体(5分)・・・千歳の自然保護協会
- ・本事業は、青葉公園 園内案内事業として、市民参加型の青葉公園の自然観察会を年に3回(春、夏、秋)開催し、対象者を小中学生から高齢者、障がい者に広げた自然観察会を行う。冬季は室内でも青葉公園の自然を感じてもらうため、講演会や写真・動画視聴の機会を作る。また市民が気軽に青葉公園に生息している貴重な動植物が見られる案内冊子を作成して配布事業も行う。
- ・質疑(10分)

◎委員～植物の冊子を作るのはいいと思うが、ネットで公開等は考えているか。

■実施団体；ネットで公開することは考えているが、実際に冊子を見ながら青葉公園を歩くということを大事にしたい。冊子を持ち歩くのが大変で、スマホ等で見られた方が便利という意見はもっともだと思うので、PDFデータ等をHP等にアップすることは検討したい。

◎委員～青葉公園の散策ということで、最近目撃情報も多い熊対策は考えているか。

■実施団体；何かあった際のイベント保険に入っておくことと、熊や蜂対策でスプレー等の準備は考えている。

◎委員～自然観察会の参加人数と、スタッフの人数について想定を伺いたい。

■実施団体；時々で参加者の人数が変わるかと思うが、おおよそ30名につきスタッフ1人程度で考えている。1度の参加者が60名程度かと思うので、その場合だと2名になるが、団体の会員を含めると30名程度いるので、増員も可能です。

- ・実施団体退出
- ・採点・集計
- ・集計結果発表(別紙②)
 - ・採択

●**附帯意見** 熊の目撃件数が最近が増えているため、熊スプレーの安全対策はしっかり行ってほしい。参加人数30名に対してスタッフ1名は少なく思えるので、自然観察会の際はスタッフを多めに動員し、より一層の安全面への配慮をお願いしたい。冬季は室内による催しものを計画しているが、冬季ならではの自然観察会も魅力を感じられると思うので検討したら良いと思う。

◆ 楽器演奏と朗読による読書会事業・・・ひと・まちづくり助成事業

- ・プレゼンテーション実施団体(5分)・・・読書会・RBC
- ・本事業は、読書文化普及を目的とし、様々なコラボレーション読書会を行ってまいります。イベント読書会は年3回を予定し、①「琵琶演奏と古典文学の群読」②「自由な朗読と音読の会」、③「本を身近に～シンポジウム」を開催し、読書の意義を多くの市民に知ってもらい、読書に親しむ方を増やし、市民の読書文化の醸成に繋げていきます。

・質疑（10分）

◎委員～謝礼交通費が事業費の大半を占めているが、どのような内訳か。

■実施団体～今年で3年目の事業なので、1年目・2年目の際に読み聞かせの専門家ということでアナウンサーの方や、マリンバ奏者の方をお願いした際の謝礼の金額をそのまま想定して記載している。しかし今年はなるべく外部の方に依頼は控える予定なので、この通り支出する、というものでもないです。

◎委員～外部講師への依頼をなるべく控えるということですが、琵琶の演奏はどなたが行うのでしょうか。

■実施団体～琵琶の奏者については、団体内で行える人間がいないので、外部に依頼しようと考えています。必要最低限の依頼は、行う予定です。

◎委員～イベントの周知方法はどのように考えているか

■実施団体～ポスターとチラシを印刷し、市内のコミュニティ施設への配布や、教育委員会を通して市内小中学校に周知してもらう予定です。あとは個人的な付き合いのある方にも周知を手伝ってもらうつもりです。

・実施団体退出

・採点・集計

・集計結果発表(別紙③)

・採択

●附帯意見 外部講師について、なるべく自分達で出来るようにというのは素晴らしいが、しっかり謝金を支払い、外部からこういう人を呼んでどういうことを行うということを明確に周知出来たほうが、より集客が見込めるのではと感じた。周知方法については、紙媒体以外にも、LINE等ネット環境も利用したほうが、若い世代などへの波及が期待出来るのではと思われる。

～その他～

○今後の推進会議について検討事項等あれば、随時日程を調整し会議を開催する。

以上